

各位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 加藤 早苗

令和7年度 文部科学省委託留学生に対する日本語教師【初任】研修（ご案内）

1. 研修の趣旨と目的

一般財団法人 日本語教育振興協会(以下「日振協」)は、2018～2019年度に文化庁委託日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業(以下「開発事業」)として日本語教師【初任】(活動分野：留学生)に対する研修を実施し、2020年度から開発事業の後継事業である「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」、令和5年度から「現職日本語教師研修プログラム普及事業」として日本語教師初任者研修を実施しております。

本研修のカリキュラムは文化審議会国語分科会の「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)」に基づいており、初任者が体系的・計画的に日本語指導を行うための実践的能力として(1)自律的・持続的な成長力(2)対話力(3)専門性の3つの資質・能力の養成を狙いとした90単位時間のプログラムです。忙しい仕事の合間を縫って学べるよう、また地方の日本語教育機関の新任の先生方への学びの機会となるよう、e-Learningを利用したフルオンラインでの研修となっています。

2. 募集人数 140名

全国への普及を目的としているため、大都市圏以外の地域からの応募も歓迎です。

3. 応募資格と応募条件

(1) 応募資格

告示された日本語教育機関の日本語教師として採用されて原則3年以内の方。

(お申し込み内容に基づき、参加資格を確認させていただきます。)

(2) 応募条件(以下の条件全てに当てはまる方)

- ①オリエンテーション及び2回のオンライン集合研修に出席できる方
- ②授業を担当して自分の授業(数十分)を録画して分析することが可能な環境にある方
(学校の許可をお取りください。映像は自己分析に使用し、誰かと共有することはありません)
- ③カメラ・マイク内蔵型PCの受講環境を準備できる方(携帯・タブレットからの参加不可)
- ④集合研修の録画に同意いただける方(日振協の内部記録用で公開はいたしません)
- ⑤研修中・研修後の数回のアンケートに全て回答いただける方
- ⑥自律的・積極的に多くの知識や新たな気づきを自分のものにして成長していく意思のある方。
- ⑦連携力・協働力の成長に意欲があり、積極的にグループメンバーと関わっていける方。

4. 研修期間

2025年9月3日(水)から2025年11月30日(日)まで

5. 受講料等

18,000円(消費税込み)

※教材費は含まれております。

※オンライン研修のために必要な通信費などは、自己負担

6. 研修内容

(1) オンライン映像講義「LMS（学習システム）eden を用いて」

LMS（学習管理システム）を用いてご自身のご都合に合わせてお好きな時に視聴いただけます。これにより日本語教育界の現状把握と初任段階の日本語教師に必要な知識の習得を目指します。10人の一流講師による講義（8科目 10単位時間）が研修終了日まで何度でも視聴いただけます。視聴後、理解度確認クイズに回答して70%以上を取得、単位認定となります（締切日あり）。

講師名及び講義内容は以下のとおりです。

日本語教育・日本語教育機関の変遷	西原鈴子(NPO 法人日本語教育研究所 理事長)
日本語教育機関の歴史と現状	加藤早苗(日本語教育振興協会 理事長) 高山泰(日本語教育振興協会 専務理事)
日本語留学生の背景	奥田純子(元コミュニカ学院 学院長) 亀田美保(大阪 YMCA 日本語教育センター センター長) 山本弘子(カイ日本語スクール 代表)
日本語教育の参照枠	奥村三菜子((NPO 法人 YYJ ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事)
教案作成	倉本文子(カイ日本語スクール研修 担当主任)
教材作成	藤本かおる(武蔵野大学グローバル学部 准教授)
オンライン授業法	藤本かおる(武蔵野大学グローバル学部 准教授)
評価法	高橋薫(創価大学学士課程教育機構 准教授)

※スケジュールを組んで計画的に視聴を進めてください。

※資料の配布はありません。視聴しながらノートを取り、自身の「学びのノート」を作成してください。

※映像内に答えが無い等のご質問には回答いたしかねます。

※音声聞き取りにくい、話し方が明瞭ではない講義もありますが、予めご了承ください（字幕あり）。

※制作年が古いことが内容の古さではありません。

(2) オンライン集合研修

オンラインによるグループ活動での専門的ネットワーク形成と連携力・協働力の育成を目指します。

全国の先生方と意見交換・情報交換し、繋がることのできる貴重な機会となっております。

オリエンテーション (1) 初任者研修概要 (2) チームビルディング	9月3日(水)	19:00 ~ 21:00
ワークショップ① (1) 「日本語教育の参照枠」の理解 (2) AI を利用した授業案作成の方法の理解	10月4日(土)	14:00 ~ 17:00
ワークショップ②（東西に分かれて実施） 「日本語教育の参照枠」の視点からの授業案の検討・相互評価	東：10月18日(土) 西：10月25日(土)	14:00 ~ 17:00

(3) 自己研修（自己点検映像講義視聴→授業を録画（最大15分程度）・文字起こし（8分程度）

→レポート提出→相互評価）

自己点検により自己点検能力・自己修正力を育成し、自律的に教授能力の向上を続けられる日本語教師を目指します。

講師名及び講義内容は以下のとおりです

自己点検

金田智子(学習院大学文学部 教授)

自分の授業を撮影してその授業分析を行います。(実施期間:10月26日~11月23日)
その後、自己点検レポート作成・提出をLMS「eden」で実施します。

(4) 資質・能力自己チェック

研修始めと終わりに「留学生に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力」の理解度に基づくアンケートを実施し、この研修でどれだけ理解度が増したか確認します。

7. オフィスアワー(ICTサポートチームによる ICT 関連の質問対応)

平日夜、月に数回 Zoom にて ICT 関連のお悩み解決のための Zoom を開きます。
ICT スキルの向上のため自立的に利用してご自身の ICT レベルを引き上げてください。
eden や Zoom など研修の使用ツールだけでなく、授業での ICT のお悩みも受け付けます。
他の人の質問を聞くだけでもためになりますし、他の受講者と交流もできます。

8. インターネット等通信環境要件

※集合研修当日に通信状況が悪く参加できないと単位が取得できません。通信不良による救済措置はございませんので、必ず環境を整えてご参加ください。

- (1) 毎日チェックできる個人のメールアドレス(携帯アドレス不可)
- (2) PC(携帯・タブレット不可)・Webカメラ・ヘッドセット(またはマイク付きイヤホン)
パソコン本体に内蔵されていない場合は別途準備してください。
- (3) 研修に支障の無いインターネット環境(光回線の有線接続、高速のwifi等)
映像講義視聴、Zoomでの集合研修受講に支障が出ないようお願いいたします。
ポケットwifiなどの場合、無制限を推奨します。

9. 修了要件(90単位時間)

「映像講義」10単位時間、「オンライン集合研修」40単位単位、「自己研修」40単位時間の計90単位時間とし、90単位時間の70%以上(63単位時間)の取得により修了となります。このうち「映像講義」10単位時間は必須条件となっています。(視聴後に提示される内容理解クイズにおいて、正答率が70%以上で、10単位時間取得と判定されます。)

最終アンケートの提出を持って、認定者は修了証発行手続きとなります。
研修終了時の取得単位時間数は途中辞退も含め文部科学省へ報告されます。

10. 成果

本研修の修了は、日本語教師としての履歴書に明記することができ、個人にとっても所属する教育機関にとっても、教育能力の保証の一端となり得ます。修了された方には修了証書(PDF)を発行いたします。また、文部科学省HPの修了者リストに名前が掲載され、文部科学省へ申請後、オープンバッチが発行されます(希望者のみ)。

11. 応募方法

受講希望者は、下記のGoogleフォームに入力し提出してください。



<https://forms.gle/nKNphdFqAuRMLgMR6>

応募締切日：2025年8月10日（日）17:00

※応募者多数の場合は締切日より前に募集を終了することがございますので、予めご了承ください。

※電子メールにて受講の可否を通知します。

※受講料の支払い方法や受講方法の詳細については追って受講決定者にご連絡いたします。

12. 問合せ先

一般財団法人日本語教育振興協会事業部 初任教員研修担当

Tel：03-6380-6557（平日9:30～17:30） E-mail：nisshinkyoshonin@gmail.com

